

授業研究と資料の利用

1 授業研究の参加者が指導案を作り観察・分析

①授業研究に参加する先生方も指導案を作成する

事前に本時の学習指導目標（めあて・ねらい）、教材等を示し、計画を立てる。

②授業担当の先生の授業について記述する

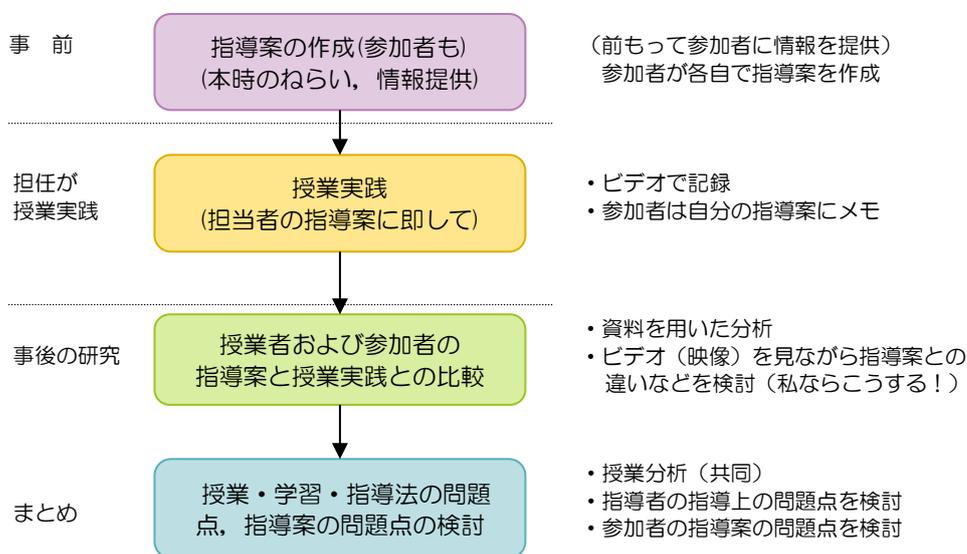
参加者が授業内容について、良い点・問題点等を記述する。

③授業実践と（参加者の）指導案との違いを検討する

授業後の研究会で、担当の先生の授業と参加者の指導案との違いについて、全員で検討を行う。

【研究の視点】

授業実践と参加者の指導案を比較し、授業全体について検討を行います。「もし私ならば…」というような具体的な観点で問題点等を検討します。



2 学習活動の基礎資料

(1) 学習活動に要する時間

- 授業の分節（分節：導入、展開、まとめ）…授業計画の参考
 - 授業の指導（確認、発問、問題、グループ討論、全体討論）…学習指導の参考
- の観点で再検討し、先生方が利用できるように整理しました。

□参考データ（これらの数値はおおよその値です。一つの目安として参考にしてください。）

表1 各分節の内容と要する時間

項目	Q ₁	Q ₂	Q ₃	概要
分節(区切り)の数	3	~	6	導入, 展開 (2~3の区切), まとめ
導入の所要時間	7分	10分	13分	復習と本時の学習目標(ねらい)
まとめの所要時間	4分	6分	8分	確かな理解(未習得児童の対応)
確認の最初の応答	4秒	8秒	14秒	内容, 体験, 経験
発問の最初の応答	10秒	14秒	20秒	十数秒は児童に考えさせたい
問題の最後の応答	2.6分	3.7分	5.4分	練習問題の量・質も配慮
グループ討論	2.2分	3.0分	4.0分	教師は各グループの情報収集
全体討論	1.2分	1.6分	2.4分	グループ討論+教師の役割を考える

(2) 理解の状況

学習活動での正答（理解の状況，課題解決の状況）は，学習内容や指導目標によって違いがあり，それぞれのステップで予想される正答・理解度は異なります。

表2 学習活動での正答率（理解・課題解決）

正答	四分位	Q ₁	Q ₂	Q ₃
発問の応答		56%	77%	92%
問題の課題解決		46%	63%	83%
グループ討論		50%	69%	87%
全体討論		53%	73%	87%
分節の通過率		65%	85%	95%

3 授業研究の例

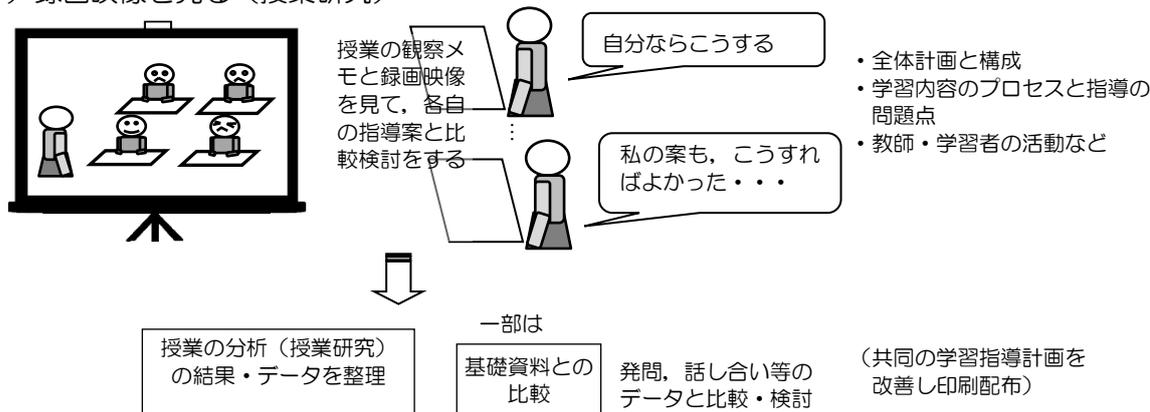
(ア) 参加者も一人ひとりが指導案を作ります！



(イ) 授業を記録する



(ウ) 録画映像を見る（授業研究）



・共同で指導案を作るときは，(ア)で多くの教師で共同作業を進めます。

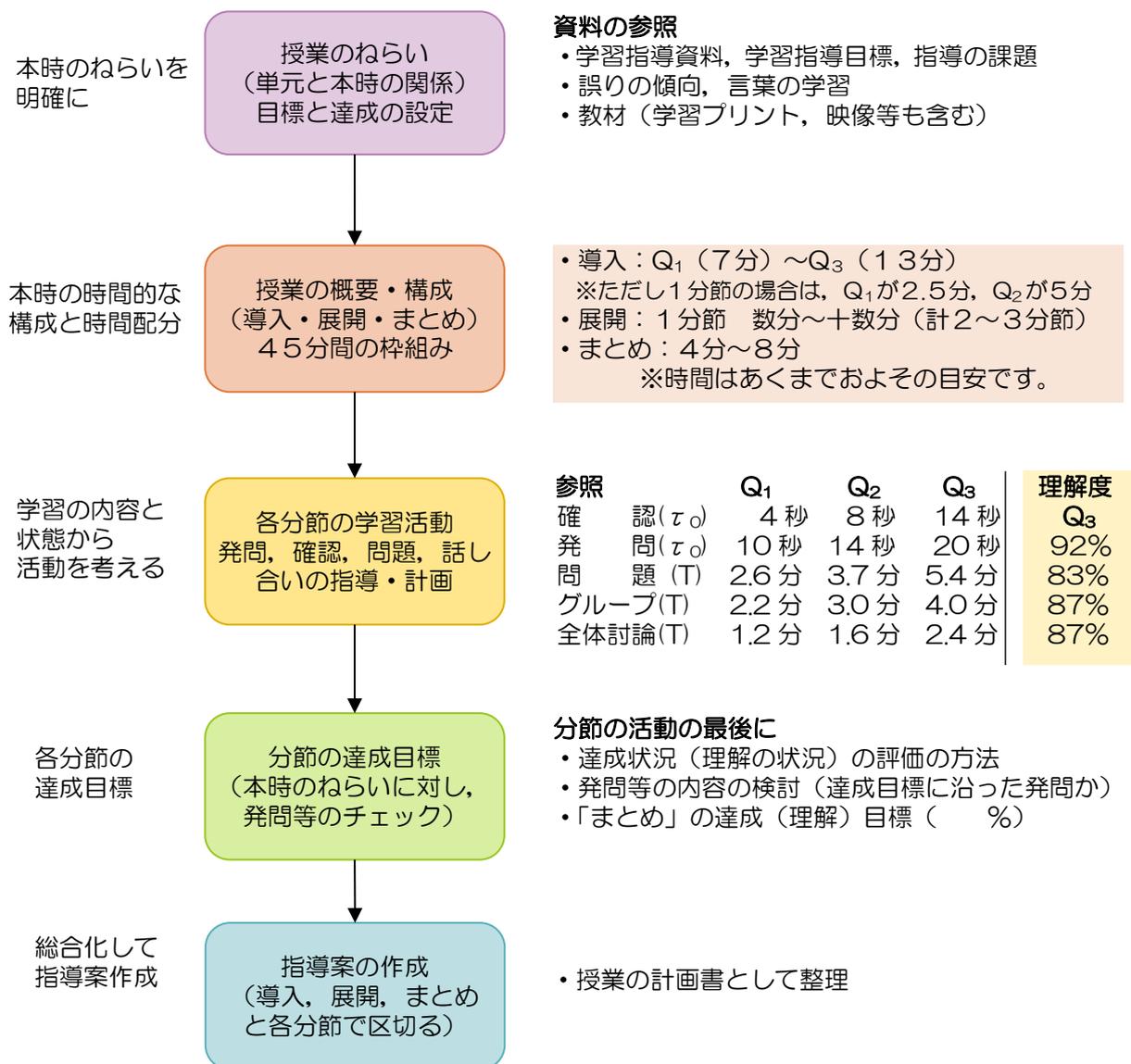
注) 上図は 1967 年～1975 年の学習システム研究会での各教科学習指導計画書・学習プリント発行を参考に作成しました。

授業の計画，学習指導での資料の利用

1 授業の計画，学習指導(資料の参照)

各資料の教育実践（指導案，教材開発，学習指導，授業分析，評価）に利用できる多様な資料がデジタルアーカイブ（DA）に保管されるようになりました。そのDAに保管される資料の1つとして，本リーフレットの作成にあたり使用した資料も手引きとして利用・提供する予定です。これらを用いた授業の計画について次に示しました。

授業の計画



※この教育実践資料は，下記の授業分析データを整理し，教育実践への活用を検討した資料です。
本誌の資料（数値データ等）は，文部省科学研究費特定研究「科学教育」広瀬班報告書“TM計測による理科教育の研究”No.7（1971.3）によるものです。

2 指導案の構成例

本時のねらい

授業の計画 (注) 資料の数値は一つの目安です。まず、自分で考えてみましょう。

分 節	教師の活動 ※発問内容の記述	児童の活動 ※予想される活動	教材	活動状況 %
導 入 (例)復習				達成率 %
(例)本時のねらい				
所要時間 分				
展 開(分節で区切る)				
所要時間 分				
(例)グループ討論 (例)全体討論				
所要時間 分				
(例)問題				
所要時間 分				
まとめ				

家庭学習等				
-------	--	--	--	--

【注】

発問内容の記述

- ・分節で区切り、分節の「ねらい」の理解状況を知るための発問・確認を記述してください。(発問は受け止めやすく、本時の「ねらい」に適した考え、回答しやすい条件になっていますか。)

各分節の時間

- ・各分節の時間は、資料を参考に学習内容・学習者の状態や指導の方法などを検討し、おおよそ何分くらいか記述して下さい。(全体のバランスを配慮して下さい。)

理解の状況

- ・各分節でどの程度理解させるか。本時で理解困難な児童をどのように指導するか記述して下さい。

家庭学習

- ・家庭学習、家庭での学習の定着や学びの習慣をつける課題も出して下さい。
(例:学習プリント, ICT 利用など)
- ・学びの習慣がつけば、定着と自主学習の方法も記述して下さい。